

 <p>市長 本坊 輝雄</p>	<p>鹿児島県 Minamisatsuma City <b>南さつま市</b></p>  <p>市章</p> <p><b>住みたい 働きたい 訪れたい 南さつま</b></p>	<p>【データ】H30.3月末現在</p> <p>人口 34,317人 世帯数 17,357世帯 面積 283.59km<sup>2</sup> 市の花 つわぶき 市の木 いぬまき 高齢化率 38.5% 合計特殊出生率 1.69 (H24) 健康寿命*男 72.31 女 75.51</p> <p>※鹿児島県の値（健康日本21より）</p>
---	---	--

## 市の紹介

- 日本三大砂丘「吹上浜」等の魅力的な景観  
九州の南、薩摩半島南西部、三方を海に囲まれ、温暖多雨な気候。海岸線には多くの景勝地を有する。
- 特色と温暖な気候を生かしたイベントやスポーツ合宿  
大迫力の砂像を展示する「吹上浜砂の祭典」、鑑真大和上の足跡をたどる県内三大ウォーキングイベント、サイクルツーリズムや駅伝大会、サッカー・野球選手の合宿等。
- 高齢者 1 人を現役世代 1.2 人で支える人口構造  
高齢化は 38.5%と国の推計の 30 年先を行っている。



## 健康づくりの取組

- 「南さつま市健康元気都市宣言」(H27.11)  
“住みたい 働きたい 訪れたい 南さつま” を目指し宣言。
- 「南さつま市健康増進計画(第2次)」策定(H29.3)  
第 1 次の期間が終了し、平成 34 年度までの計画を策定。
- 運動普及推進員・食生活改善推進員など健康づくり推進員と連携して「健康を支え合う社会環境の整備」を図る。
- 健康を保つ方法を学ぶ「体験型健康医学教室」  
メタボ改善・生活習慣病予防・ストレス緩和について学習。
- 脳卒中对策事業  
血圧管理について継続・習慣化ができるよう民間事業所と連携し、地域で行う健康づくりを目指す。
- 「健康元気まちづくり戦略会議・ワーキンググループ」  
鹿児島大学や市民の代表により戦略を協議し、健診未受診者対策、フレイル予防、糖尿病重症化予防等を検討。



## 健康で安心して暮らせるまち

### ●子育て世代・若年層への支援

- ・誕生祝い金
  - 第1・2子： 5万円
  - 第3子～： 10万円
- ・保育園・幼稚園の保育料を5割軽減
- ・中学生までの医療費を助成
- ・新たにロタウィルス予防接種の助成

### ●健康づくり活動への支援

- ・健康づくり活動にポイント付与
  - 地域商品券と交換
- ・65歳以上の温泉・ジム利用を助成

## 産業を支えおこすまち

### ●働き世代の豊かな暮らしを支援

- ・健康野菜「長命草」の販路開拓
- ・漁業の後継者・加工グループ支援
  - 新規就業者1人当たり年150万円
- ・特産のかぼちゃ・らっきょう・きんかん、ちりめん・カンパチ販売促進

### ●インバウンド推進・新産業の開発

- ・県に国際線直行便が就航している国や地域を中心に本市のPRを強化
- ・伝統を継承する「七蔵」の芋焼酎
- ・「本土最南端のウイスキー蒸留所」
- ・「コンテナ内LED育苗技術実証実験」

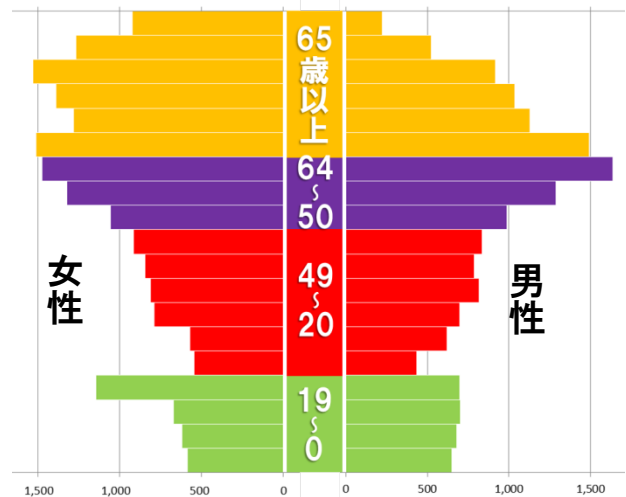
## 環境にやさしく災害に強いまち

- 「ごみ分別アプリ」開発、3010運動推進による食品ロスの削減
- 情報格差解消のため、光ブロードバンド未整備地区の固定通信網を整備

## 知・徳・体を育み人間力を高めるまち

- 小中学生の給食費を無償化
- 島津日新公忠義没後450年記念事業
  - ・西郷や大久保も模範とし、明治維新の礎となった島津日新公の教えをいろは歌等を用いて、広く伝えていく。

参考：南さつま市の人口構造



## 地域が輝き人が躍動するまち

- 地域が自ら提案する活動や、市民のチャレンジ活動を支援
- アウトドア資源開発による地域活性化
  - ・(株)モンベルを中心とした産官学金連携によりアウトドア資源を磨く

## ふるさと納税の活用

- 旬の農畜産物や海産物、伝統の芋焼酎などの個性豊かな返礼品を揃え、寄付額約14億円を達成。

- ①少子化対策・子どもの育成
  - ②高齢者の安心・安全
  - ③環境・景観保全
  - ④移住・定住応援
  - ⑤地域活性化・雇用拡大
  - ⑥生活環境向上
- に活用

【連絡先】鹿児島県南さつま市役所 市民福祉部 保健課 地域健康係  
 TEL 0993-53-2111 FAX 0993-52-2010 [kenko1@city.minamisatsuma.lg.jp](mailto:kenko1@city.minamisatsuma.lg.jp)